

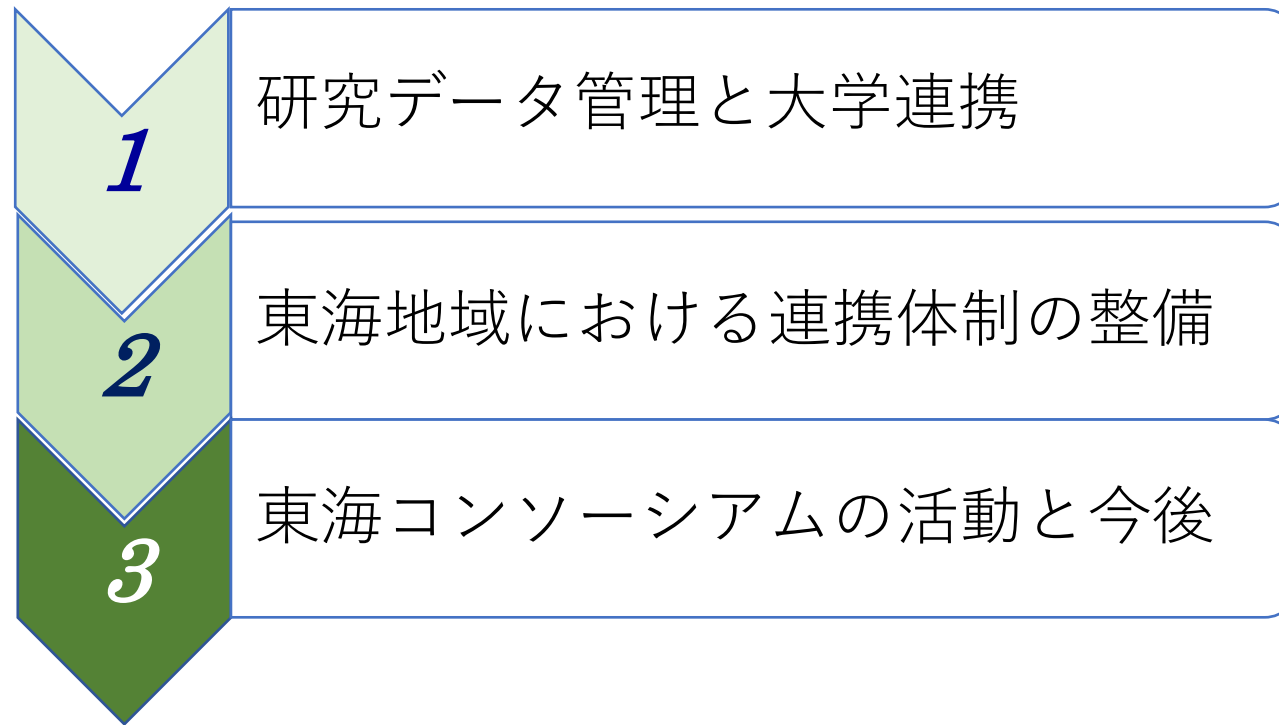
研究データ管理と大学連携： 東海地域における コンソーシアムの形成と展開

松原 茂樹

名古屋大学 情報基盤センター

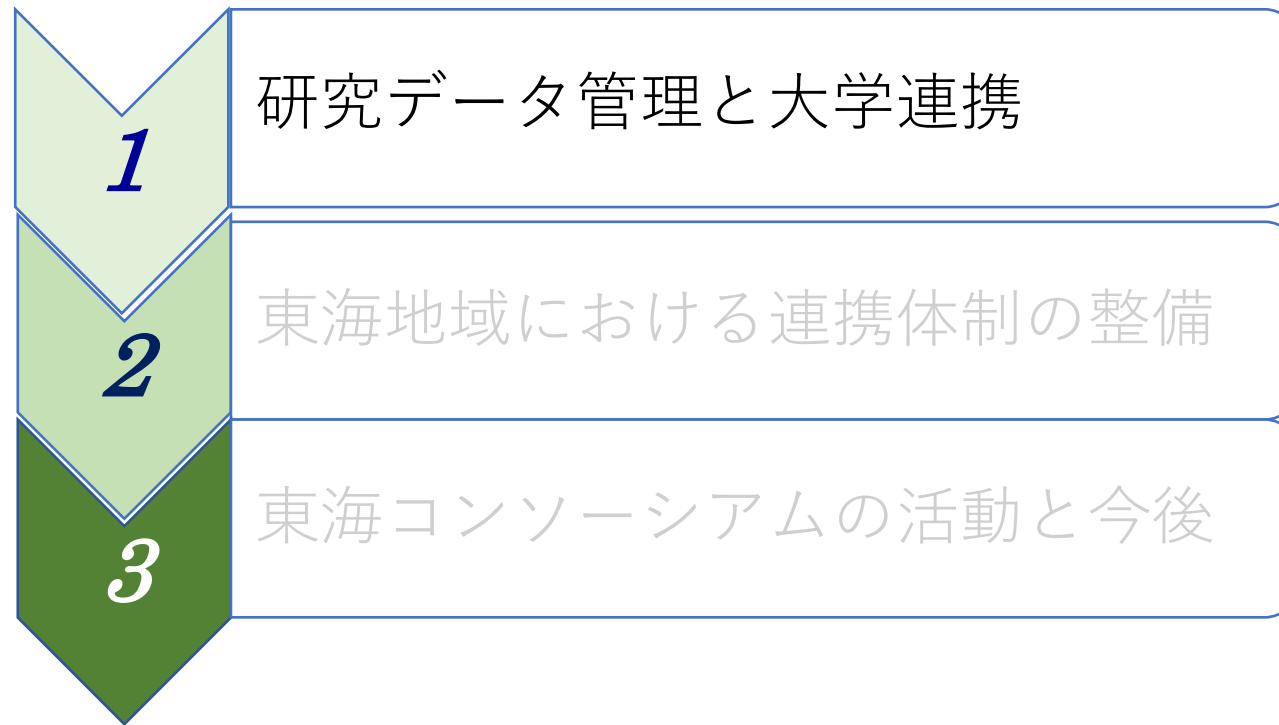
講演の内容

- 東海地域における“研究データ管理の大学連携”



講演の内容

- 東海地域における“研究データ管理の大学連携”



大学の研究データ管理：政策的動向



第6期科学技術・イノベーション基本計画（2021）

公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方（2021）

統合イノベーション戦略推進会議

データポリシー策定

機関リポジトリへのデータ収載

研究データ人材・支援体制の整備

信頼性の高い研究データストレージの提供



科研費公募要領

科研費 令和6年度交付分

DMPの作成（2024～）



公的資金による学术论文等のオープンアクセスの実現に向けた基本的な考え方（2023）

G7 科学技術大臣会合

即時OA（2025～）



第1回 東海地区 学術データ基盤セミナー

2022/12

図書館・研究推進・教育推進・産学連携・大学IR・情報基盤などの
担当者が集まり、大学の研究データ管理（=RDM）のあり方を議論

- **トピック**：行動計画、データ管理教材、データアクセス
- **参加者**：約**100**名（東海地区から **18** 機関）
※ 対面参加者との情報交換会を開催

（情報交換会の参加者の意見【抜粋】）

- 大学におけるRDMの理念や必要性は理解するが
推進するための**新たな体制**の整備は難しい
- RDM推進の**資源**（人材/システム/資金/ノウハウ）が
不足しており、単一の大学での推進は難しい

RDM推進資源を相互利用する**大学連携**の可能性

東海地域における大学連携

法人統合
(2020.04)



岐阜大学
GIFU UNIVERSITY



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

<https://www.thers.ac.jp/>

大学連携の枠組

名古屋六大学による連携協定

(2023.05)



名古屋大学



名古屋工業大学



名古屋市立大学



南山大学



名城大学



中京大学

<https://www.chukyo-u.ac.jp/news/ChukyoUniversity%20HP.pdf>

東海地域・国立大学
連携プラットフォーム (C-FRONT)

(2024.05)

<https://www.thers.ac.jp/news/2024/01/c-front.html>

部署間・連携の実績

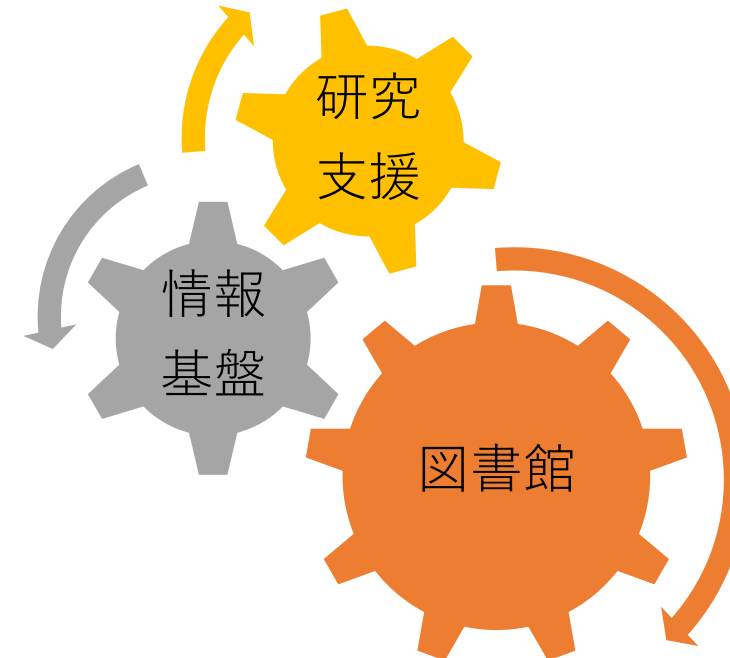
図書館

(国立大学図書館協会東海北陸地区)

情報基盤 (共同利用・共同研究拠点)

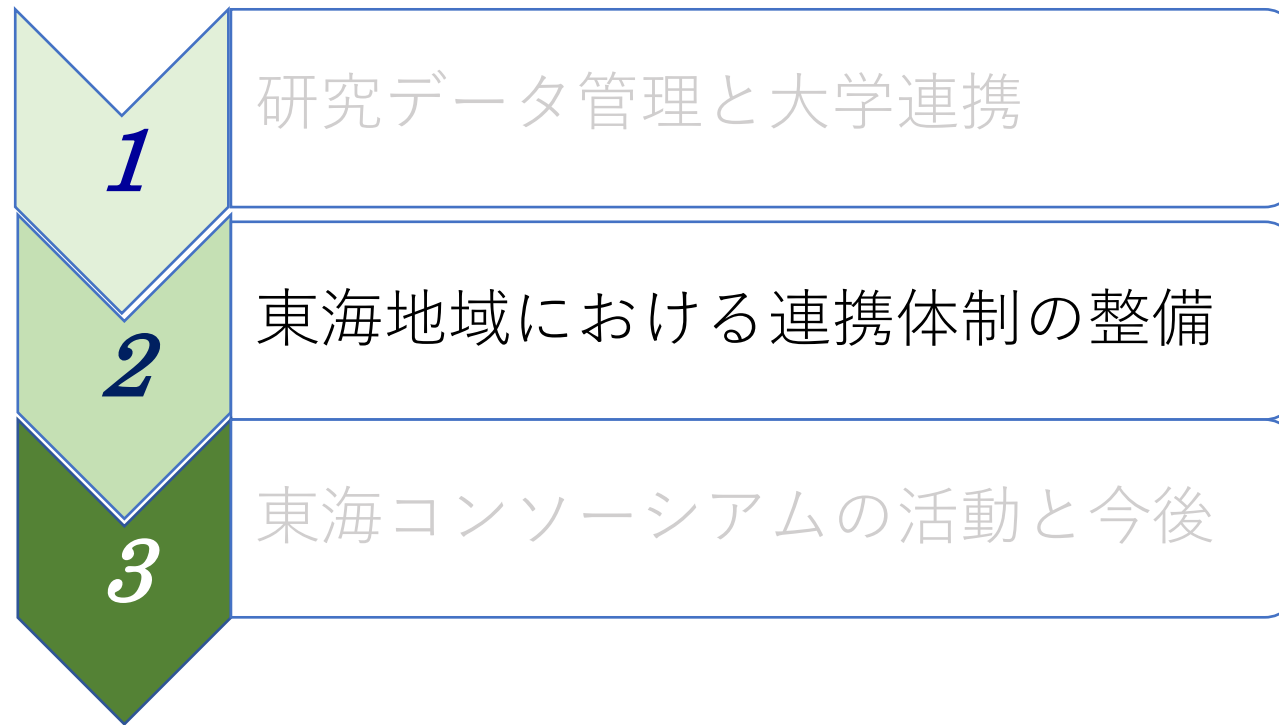
研究支援 (URAの地域内交流)

⋮



講演の内容

- 東海地域における“研究データ管理の大学連携”



研究データエコシステム構築事業

研究データ管理スタートアップ支援事業（2023-）

https://www.nii.ac.jp/creded/poster04_NII-RDES.pdf

各地域における核となる拠点大学群

- 核となる拠点大学を全国に作り支援。各拠点大学が地域の多様な大学を支援。
- 潜在需要が想定される大学も含め、コミュニティを広げていく。

想定されるコミュニティ内での取り組み

- 課題抽出
 - データマネジメント体制の構築
 - データポリシーの構築
- スキル・ノウハウの蓄積
- 他大学の情報共有



実施状況

今年度

- 本事業は、ルール・ガイドライン整備チーム（リーダー：名古屋大学）が統括する
- 地域ごとに支援機関と複数の被支援機関による支援の仕組み（コンソーシアム体）を設ける
- 支援機関は、令和5年度は名古屋大学（東海地域）、金沢大学（北陸地域）とする

コンソーシアムの構想から設立まで

研究データ管理スタートアップ支援事業

事業承認 2023.5

規約案作成 2023.6

構想表明 2023.7.24



入会募集 2023.8～11



研究データエコシステム 東海
コンソーシアム

設立総会 2023.12.6

コンソーシアムの概要

活動期間	2023年度～2026年度
会 員	※東海地域に限定しません 正会員：大学・高専・研究所等の学術機関 準会員：上記学術機関に属する部署
会 議	総会：成果・計画の承認 運営会議：成果の集約・計画の立案
事 務 局	名古屋大学情報連携推進本部

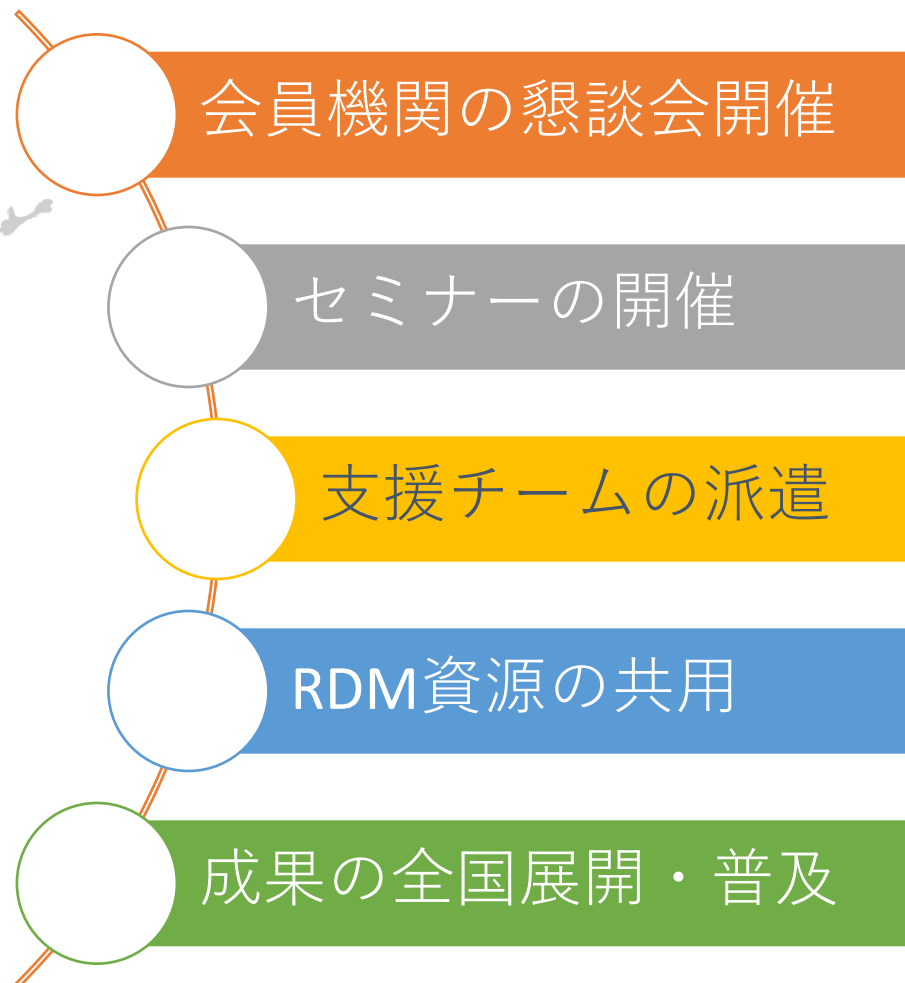
コンソーシアムの目的



研究データエコシステム東海コンソーシアム

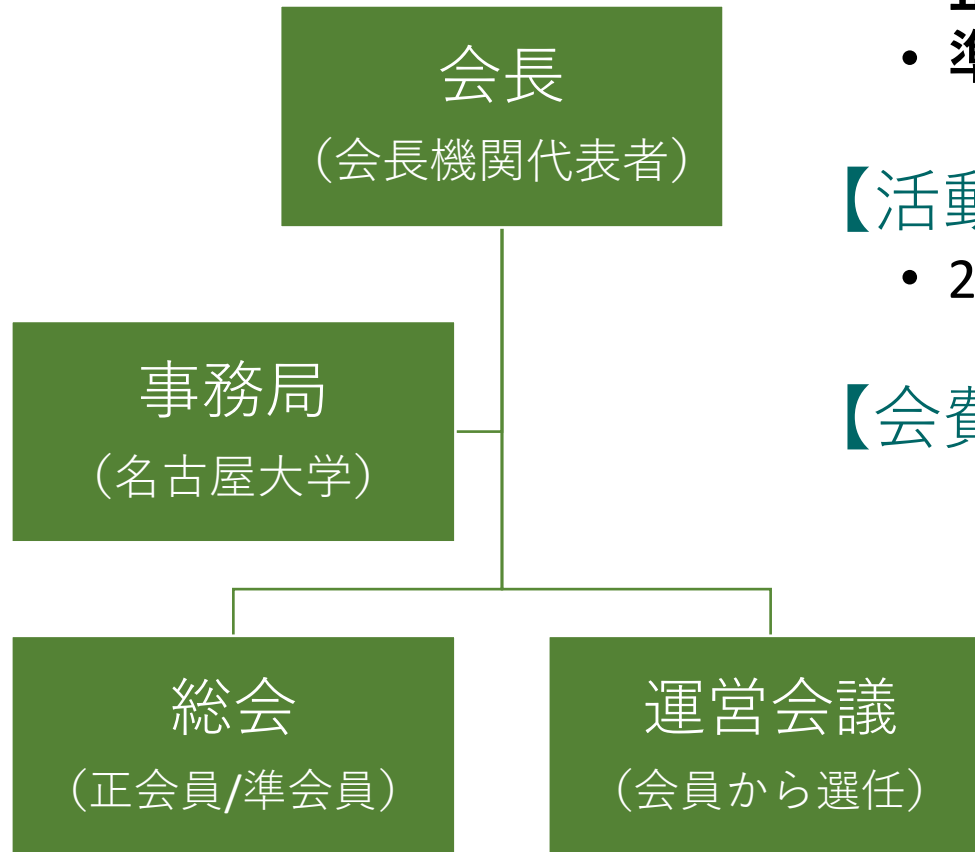
【目的】

東海地域の学術機関が連携し
研究データエコシステムの
整備、普及、利用促進



コンソーシアムの会員と体制

【運営体制】



【会員】 ※東海地域に限定しません

- **正会員**：大学・研究所等の機関
- **準会員**：上記機関に属する部署

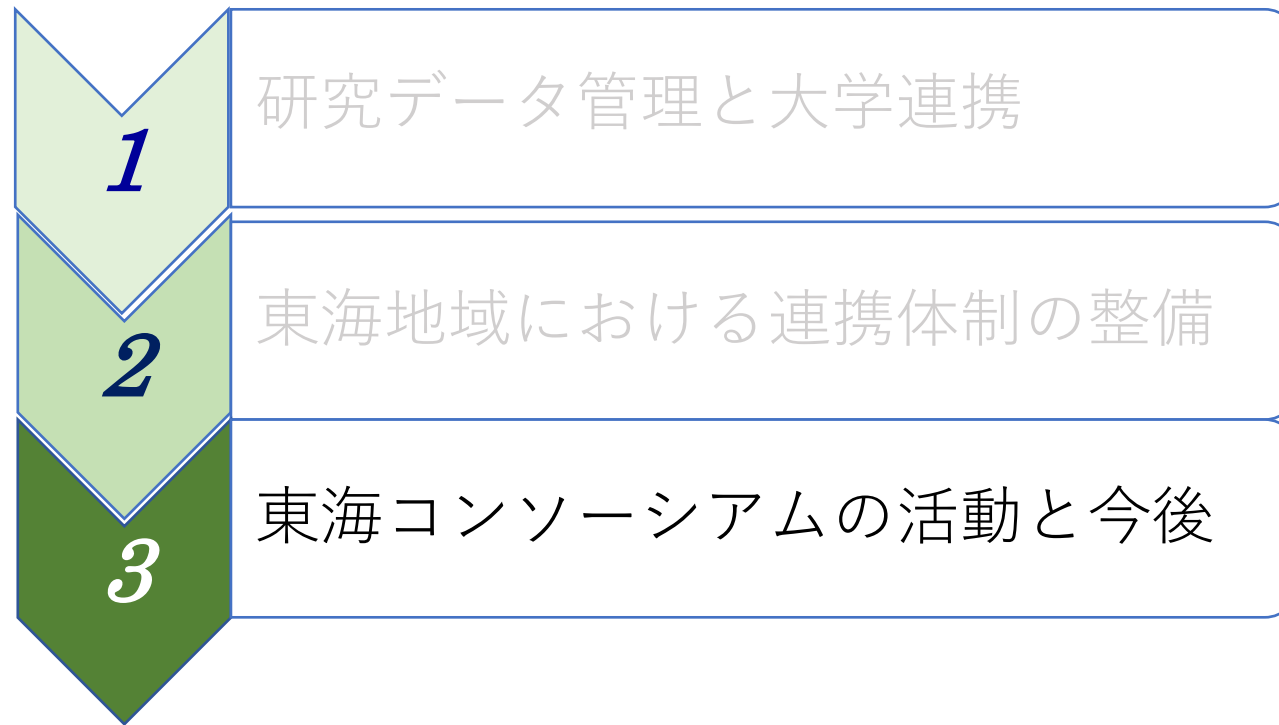
【活動期間】

- 2023年度～2026年度

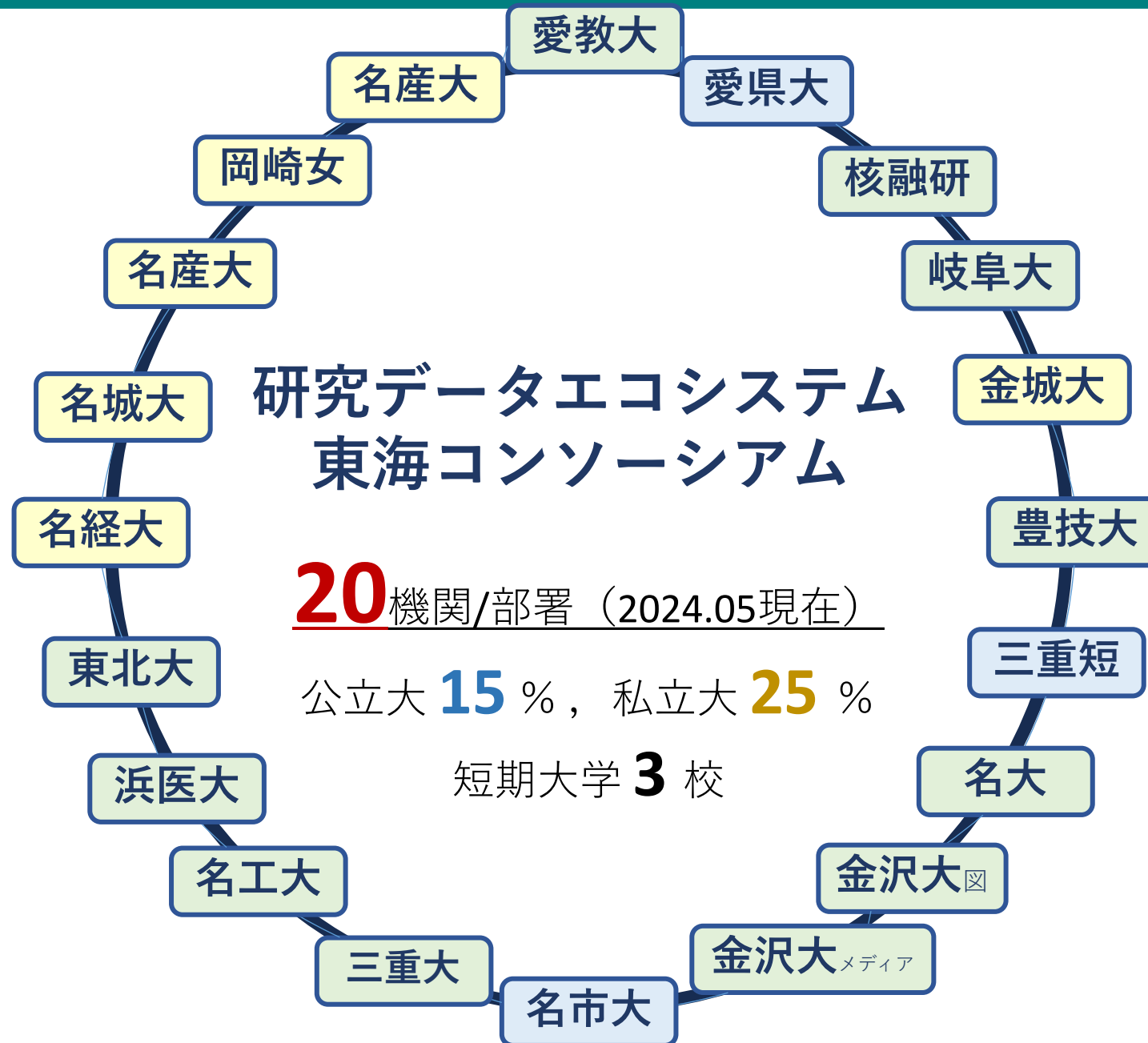
【会費】 不要

講演の内容

- 東海地域における“研究データ管理の大学連携”



地域コンソーシアムの形成



コンソーシアムの活動（１）：セミナー開催

・セミナーの定期開催

1. 会員向けセミナー主催

- ・ **第1回 セミナー（12/6）※国内外の動向**
 - ・ オープンサイエンスの潮流
 - ・ 研究データエコシステム構築事業とNII RDC
- ・ **第2回 セミナー（3/21）※ポリシー・ガイドライン**
 - ・ 個人データなどの研究データの法と倫理
 - ・ データポリシー策定の勘所
- ・ **第3回 セミナー（6/7）※機関リポジトリ**
 - ・ 名古屋大学学術機関リポジトリの運用について
 - ・ 研究データをより見つけやすくするためのメタデータ変換と機関リポジトリへの登録



知識・ノウハウ
の獲得

2. イベント等でのセッション共催

- ・ **AXIES2023@名古屋 企画セッション（12/15）**
「研究データエコシステムの構築に向けた地域コンソーシアムの形成」

- チーム派遣による推進支援



人材・成果の
共有

1. データポリシーの策定支援

- 支援者を派遣し策定過程を伴走
- 全国ポリシーを調査し策定に活用
- 策定後に向けた行動計画の草案
- 2023年度：**3** 機関

ポリシー項目	該当数
目的	◎
データの定義	◎
適用範囲	△
原則	△
メンバー 各機関	○

ポリシーの分析と利活用

2. 講師の派遣

- 会員機関が主催するFDなど講演会に講師を派遣
- 2023年度：**3** 機関

3. 構成員の実態調査・分析支援

- AXIES 雛形を用いた学内アンケートの実施・分析支援
- 2023年度：**2** 機関

- 会員機関間の情報共有

情報交換会の定期開催

- 第1回 情報交換会（3/21）
- 第2回 情報交換会（6/7）
 - 2023年度支援事業の実施期間の事例共有（2機関）

• 主なトピック

- 会員機関の実施体制・状況の共有
- ポリシー策定の進行状況
- 会員機関からの質疑応答
- コンソーシアムへの要望、など



事例・課題
の共有



研究データエコシステム東海コンソーシアム

【会員】 ※ 東海地域に限定しません

- ・ 正会員：大学，研究所等の学術機関
- ・ 準会員：上記学術機関に属する部署



【会費】 不要

【活動予定】 活動の継続を総会（6/7）で承認

【入会方法】 （随時受付）

- ・ 入会申込書をメールでお送りください
 - ・ 詳細は、名古屋大学RDMのWebサイト
（<https://rdm.nagoya-u.ac.jp/group/consortium/>）から

RDMの推進に関心のある学術機関ならびに部署の
皆様のご入会をお待ちしております